

# “困っている人を放つておけない” くらしに寄りそい 誠実・ひたむきに

## 生い立ち

1970年



- 5月3日の憲法記念日生まれ。母の弟一家と隣同士に住み叔母に可愛がられる。
- 6歳で岐阜空襲にあった母の“死に一生”的体験を聞いて育ち「戦争はダメ、平和こそ」の思いを幼心に刻む。

1986



- 中学卒業。少しでも家計を助けようと働きに。同級生の親が経営する輸出用鋳物加工の会社に就職。
- 「やはり高校には行こう」と、県立岐阜工業高校・定時制に入学。でも仕事と学業の両立は辛く「学校やめたい」と何度も思い、「でも…」と頑張る。

1987



- 勤務先が円高不況のあおりで輸出不振・経営難に。17歳の夏、整理解雇にあり失業。
- 「メシ食えるならどこでも」と、高校の同級生に紹介された建築用板金加工の会社に就職。

1989



- 侵略戦争に命がけで反対した日本共産党のことを知り、誘われて迷わず入党。「反戦・平和」「国民の苦難軽減」という立党の精神が、自分自身の生き方の指針になる。

1995



- 好きな車に関わる仕事、それに人とじかに触れ合える仕事がしたいと、知り合いのガソリンスタンドに転職。お客様との何気ない会話が楽しく、19年間勤務。店長も経験。

2014



- 市議選出馬を要請され退職を決意。社長からは「何時でも戻って来ていいぞ」と励まされ、年末まで働き退職。

2015



- 元日、伊奈波神社参道で初もうで客にあいさつ。初めてマイクでしゃべり、頭がマッシロに。
- 4月、岐阜市議選に初めて出馬。その後、党岐阜地区委員会に勤務。

2017



- 10月、衆院選・比例候補者として「共闘の大義」守り奮闘。



働きます

# やまこしとおる

△やまこしとおる氏の人柄などを紹介します。

## ○日々、精進の人

市議選で初めて候補者を経験して3年近く。衆議院総選挙も経験して「人前で話すことがようやく苦にならなくなりました」。アベ政治のひどさの告発、とくに若い世代の厳しい雇用とくらしの実態：でも、寄りそつて一緒に頑張る思いを伝えきれているか。独りよがりでないか。反省と、いつそうの精進を誓う努力の人です。

思いを伝えたいと、今日も努力

## ○父母の背中

旧・柳津町（現岐阜市）で共産党町議を長く務めた母。キツイ仕事に愚痴も言わずひた向きに働き続け誠実に生きた父。2人の背中を見て育ち、自分のことより周りの人々の幸せのために、真面目に努力し真面目に働く生き方を、自分も尊いと思えるようになりました。



↑緑したたる金華山



↑2017年衆院選で訴える

○名前の通りに一度決めたら揺るがず つらぬく



↑3年前の初街頭演説

## 迷子のおばあちゃん 無事送り届けて ホッ！

ガソリンスタンド勤務時代。認知症らしいおばあちゃんが「家に帰れない」。住所を聞きとって送っていくと、そこは旧宅で引っ越したあと。幸い電話番号のメモがあり、何とか連絡つけて新居に送ることができ、ホッとしました。

## うちの晩ご飯 どうするの？

小学生の、とおる少年。不登校になっていた同級生と仲良しに。彼が家に遊びに来て「腹へった、何か食べさせて」。「任しちゃ」とお釜のご飯を全部提供。夕方帰宅した母親から「今夜のご飯、どうするの！」と大目玉。

## 昔の職場の先輩の熱い激励に感激 !!

先の総選挙。街頭演説中に昔の職場の先輩と久々に再会。「頑張れよ。会社の皆で応援する。仕事関係いろいろあるが、なあに黙っていりやあせん」と激励。今も自分を信頼してくれるんだと感激！